

町探検

2年生の子どもたちは、町探検という授業で経堂農大通り商店街にお邪魔しています。班ごとに行動し、インタビューをお願いしたお店でお話を伺います。お忙しい中、子どもたちのインタビューに応じてくださるたくさんのお店の方には、感謝しかありません。子どもたちの好奇心に応えて、いつもより少し奥まで入れてくださったり、とっておきのお話をしてくださったりと、子どもたちや引率の教職員からうれしい報告がありました。子どもたちはこの町探検により、いろいろなお店の方々が私たちの生活を支えていることを理解したことでしょう。

農大稲花小から小田急線経堂駅までを通学路としている子どもたちには、商店街の皆さんに見守られていることを知り、登下校のマナーについても考えるきっかけになったと思います。また、普段、この商店街を通らない子どもたちには、未知の世界への小さな探検になったかもしれません。そして何より、家族や知り合い以外の「大人」と礼儀正しく話し、お話を傾聴するという経験で、子どもたちがまた少し成長したことを考えています。

読書コーナー

農大稲花小では、毎朝、朝読書の時間を設け、また、農大稲花の50冊を紹介するなど、本が好きな子どもたちを育てようとしています。図書室は人気の場所で、休み時間に、あるいは、学級ごとに先生に引率されて、子どもたちがやってきます。子どもたちは思い思いに本を読んだり、借りたり、返したりしているのです。

そんな中で、いわゆる学習漫画など、ややリラックスして読む本を中心に選び、小さな書棚に並べ、図書室と体育館の間にあるスペースを利用しての読書コーナーを設けています。図書館の外にあるこのコーナーは、どの学年の子どもも利用することができます。また、このコーナーには椅子などはありませんが、思い思いの姿勢で床に座り、短い時間を楽しんでいるようです。さらに、このコーナーにある本は、借りだすことはできませんが、自由に読み、休み時間が終わったら自分たちで片づけることになっています。ときには上級生が、本をきちんと並べなおしている様子も見られます。図書室とは違う魅力を、子どもたちは感じているようです。



体験学習は続く

10月17日(月)は2年1組が伊勢原農場へ、また、10月20日は1年1組が厚木キャンパスへと出かけていきました。観光バスの中でのマナーも守れるようになった子どもたち、期待に満ちた表情で出発です。

伊勢原農場では、果樹園を中心に果樹について学び、果実の試食もさせていただきました。また、サトイモを掘り、最後は、果樹園を中心に班活動でタブレット撮影をしました。厚木キャンパスでは、ポニーやモルモットを見せていただいたり、キャンパスを歩き、落ちていた栗を拾うなど秋の植物について学びを深めました。モルモットは静かにしないと顔を見せてくれません。先週より今週の子どもたちは賑やか？だったようで、モルモットの顔を見るのには苦労したようです。同じようにご指導いただいても、このように、学級によって違う体験をすることになるのも、生き物相手ならではのです。

体験学習の後は、それぞれの体験をまとめたり報告したりする事後学習が続きます。学年進行によって、東京農業大学の先生方にはさらに発展的な学習をお願いできたらと考えています。

プログラミング

10月19日(水)には4年生が、21日(金)には1年生が、東京情報大学総合情報学部教授 松下孝太郎先生のご指導で、プログラミングの学習をしました。1年生は、プログラミングとはなにかについてお話を聞き、スクラッチを起動させて動かしたり、お絵描きをしたりしました。2週目以降の授業では、松下先生の教案に基づき、担任がプログラミングの指導を続ける予定です。昨年も松下先生のご指導を受けた4年生は、昨年度の復習に続き、乱数を使うプログラムに取り組んだり、プログラムの改造などを学んだりしました。同じく2週目以降の授業では、松下先生の教案に基づいて、担任が指導を続けます。農大稲花小の教員も、松下先生の著書をはじめとした参考書の活用や、教員間の連携によりプログラミング教育スキルの向上に努めています。



【使用参考書】 松下孝太郎, 山本光著



親子でかんたん
スクラッチプログラミングの図鑑 Scratch3.0 対応版
/技術評論社



スクラッチプログラミング事例大全集
/技術評論社

ご参加ください

11月下旬には、農大稲花小スポーツデーを、また、12月初旬には1, 2, 3年生保護者対象の給食試食会を予定しています。本校ではいわゆる運動会はいたしません。体育の授業や普段の遊びや活動を反映し、子どもたちがからだを動かし楽しむスポーツデーを計画しました。2学年ごとの小規模かつ短時間のイベントではありますが、保護者の方にもご来校いただけるよう準備をしています。また、2019年度に実施して以来となる給食の試食会についても、黙食の習慣が定着した今であれば可能であると考え、ご案内することにしました。新型コロナウイルスがまん延していた影響で、保護者の方々にも学校へのお出かけを長くご遠慮いただいておりますが、保護者の皆様には、これまでのご協力とご理解に感謝しています。感染防止を第一にすることに変わりはありませんが、少しずつ親しめる学校らしさを取り戻したいと考えています。

東京農業大学稲花小学校
校長 夏秋 啓子